

# 令和4年度壬生町一般会計当初予算（案）

壬生町長の小菅一弥に代わり、壬生町特別広報官の壬生むつみが、令和4年度当初予算（案）を発表させていただきます。

令和4年度当初予算（案）は、新庁舎への移転や六美町北部地区の大型商業施設等のオープンなどに象徴される新しく生まれ変わる町にふさわしい新しい取り組みを多く盛り込み、「住み続けたい。住んでよかった。」、そして「住んでみたい。」と思える壬生町の実現を目指した内容となっております。



---

予算規模 166億円

---

～**壬**寅(みずのえとら)に新しく**生**まれ変わる

「壬生」の挑戦予算～

# 予算の概要

---

令和4年度の壬生町一般会計予算は、清掃センター基幹的設備改良事業やおもちゃのまち駅のバリアフリー化整備事業などのハード整備に加え、新庁舎への移転関係費用、新型コロナウイルスワクチン接種臨時推進事業及び栃木国体開催事業など、例年にはない事業が多数盛り込まれ、166億円となり、過去2番目の大型予算となっております。

令和4年度の重点事業といたしましては、幅広く官民の最先端情報を収集するとともに、町の文化・経済の情報発信の拠点として東京にサテライトオフィスを設置する「東京サテライト事業」、オンライン英会話や英検受験料の助成により、全ての子どもが確かな自信と高い英語力を身に着けるための環境を整備する「英語力向上推進事業」、東武鉄道や広域連携バス等の既存の公共交通と連携し、町内の主要な拠点をつなぐ「コミュニティバス実証運行事業」、対象を中学3年生から高校3年生までに拡充し、医療費を全額現物給付することで、保護者の負担軽減を図る「こども医療費助成事業」になります。

これに加えて、今年の夏には、六美町北部地区に大型商業施設等がオープンします。10年程前から検討を始めた「六美町北部地区土地区画整理支援事業」が、こうして見える形で成果が現れることになりました。

何年も前に種をまいた施策がこういう形で新しい花を咲かせたところですが、東京サテライト事業や英語教育支援事業なども将来の壬生町をより良くするための挑戦、生まれ変わるための種まきです。これからも、子ども・子育て支援や教育環境をさらに充実させるとともに、魅力あふれる街づくりを推進していきます。

# 《重点事業》

## ◎東京サテライト事業【新規】

2, 452千円

- ・幅広く官民の最先端情報を収集するとともに、町の文化・経済の情報発信の拠点として東京にサテライトオフィスを設置する。

## ◎英語力向上推進事業【新規】

12, 314千円

- ・ネイティブな講師との英会話などの機会を多く創出し、全ての子どもが確かな自信と高い英語力を身に付け、国際的な交流が身近にある環境を整備する。
- ・オンライン英会話 8, 600千円
- ・実用英語技能検定受験料補助事業 1, 673千円

## ◎コミュニティバス実証運行事業【新規】

10, 981千円

- ・本庁舎移転を契機に、東武鉄道や広域連携バス等の既存の公共交通と連携し、町内の主要な拠点をつなぐ新規バス路線の実証運行を実施する。

## ◎六美町北部土地区画整理支援事業

255, 817千円

- ・都市計画道路整備費負担金 96, 390千円
- ・六美町北部土地区画整理組合補助金 159, 398千円

## ◎こども医療費助成事業【拡大】

175, 934千円

- ・対象を中学3年生から高校3年生までに拡充し、医療費を全額現物給付（県外医療期間受診について償還払い）することで、保護者の負担軽減を図る。

# 《新型コロナウイルス感染症対策と コロナ後の新しい社会を開拓する事業》

## ◎ワクチン接種臨時推進事業

178,729千円

・新型コロナウイルスワクチン接種のために必要な体制を整備し、ワクチン接種を全町民対象に実施する。

## ◎行政事務、申請手続き等の

DX推進

24,865千円

・行政事務及び手続きのデジタル化・自動化を推進することで、職員の事務作業を軽減し、捻出した時間・人材・財源を、町民に寄り添うより良質なサービスの提供に充てる。

・電子入札への対応	6,050千円
・支払伝票等の電子決裁化推進	1,584千円
・申請手続き等DX推進事業	4,310千円
・内部事務業務改善事業	9,743千円
・窓口におけるオンライン通訳及び手話の導入	879千円
・自動車保有関係手続ワンストップサービスの導入	539千円
・地方税共通納税システムの税目拡大への対応	1,760千円

## ◎商工業振興補助事業

(コロナ禍における臨時事業分)

25,700千円

・新型コロナウイルス感染症に伴い業績が低迷する町内の企業への臨時支援を実施する。

・商品券発行事業	23,000千円
・(商品券のプレミアム分を10%から20%に、発行金額を1億円から1億5千万円に引き上げ)	
・コロナ対応型商工業壬力UP支援事業	1,000千円
・生活関連サービス業応援事業	700千円
・新型コロナ対策経営相談窓口事業	1,000千円

## ◎新しい取組への支援事業

11,302千円

・コロナ禍における新しい生活様式に対応する取組への支援を実施する。

・非接触型決済対応支援事業	3,000千円
・飲食店業務継続支援事業	1,000千円
・販路開拓等支援事業	900千円
・おもちゃ博物館感染症予防対策事業	6,402千円

# 《その他主要な事業等》

## 【みんなでつくる 住み続けたいまち】

・いきいきふれあい応援事業の継続実施（自治会活動支援）	8,690千円
・コミュニティセンター整備事業【新規】	3,275千円
・新庁舎建設関連事業	247,117千円
・公共施設長寿命化工事	287,209千円

## 【みんなが安全で安心して暮らせるまち】

・特殊詐欺対策電話機等購入費補助事業	250千円
・交通安全施設整備事業	1,198千円
・江川管理事業	25,720千円
・農地事務費（土地改良施設維持管理適正化事業分【新規】）	6,830千円
・災害対策事業	9,134千円
・防災計画作成事業【新規】	4,198千円

## 【みんなで支え合い 健康で元気に暮らせるまち】

・重層的支援体制整備事業への移行準備事業	4,088千円
・老人保健福祉施設整備事業【新規】	154,283千円
・子どものための教育・保育給付事業	1,217,600千円
・子ども家庭総合支援拠点事業【新規】	3,824千円
・入学準備子育て応援券配布事業【新規】	7,404千円
・放課後児童健全育成事業	131,607千円
・母子予防接種事業【拡大】	147,760千円

## 【みんなが快適で 便利に暮らせるまち】

・1市2町連携プロジェクト（広域連携バス）	7,604千円
・幹線道路の整備推進	339,044千円
・町道修繕事業（長寿命化分以外）	84,792千円
・国谷駅前広場整備	30,036千円
・バリアフリー化整備事業【拡大】	327,035千円

## 【みんなが自然に囲まれ 心豊かに暮らせるまち】

・清掃センター基幹の設備改良事業	1,204,516千円
・各種公共施設LED化事業	15,457千円

## 【みんなで学び・楽しみ 心が触れ合うまち】

・情報教育推進事業（GIGAスクール構想の推進）	54,801千円
・藩校サミット開催記念事業【新規】	102千円
・地域スポーツ連携・協働支援事業【新規】	4,520千円
・栃木国体開催事業【新規】	578,928千円
・トレーニングルーム管理運営事業【新規】	2,633千円
・トレーニングルーム改修等工事【新規】	5,856千円

## 【みんなが集まる にぎわいのあるまち】

・新規就農者支援事業【拡大】	32,547千円
・下稲葉地区圃場整備推進事業	33,880千円
・上稲葉地区圃場整備推進事業	10,050千円
・安塚・上長田地区圃場整備推進事業【新規】	10,692千円
・新産業団地整備事業	10,452千円
・ブランド推進事業	2,444千円
・雇用確保移住支援事業【新規】	6,000千円

## ●基金残高及び町債残高

- ・一般会計に関する基金については、534,152千円を取り崩すこととなり、令和4年度末には残高が4,450,155千円となります。
- ・最も取り崩し額が大きいのは、年度間調整財源である財政調整基金で241,847千円となっております。また新庁舎建設基金では208,891千円を取り崩し、新庁舎建設事業に活用します。
- ・一般会計ベースの町債残高は、令和4年度末に13,106,945千円となり、令和3年度末比759,790千円の増となります。主な要因は、ごみ処理施設整備事業債及び街路整備事業債の発行による借入額の大幅な増によるものであります。

※その他主要な事業の詳細につきましては壬生町公式WEBを参照願います。

<https://www.town.mibu.tochigi.jp/bunya/yosan/>

